RECYCLE AND RESPONSE

EA２１環境経営レポート

2022 年度

（対象期間 2022 年 7 月 1 日～2023 年 6 月 30 日）

株式会社アール・イー

発行日 2023 年 9 月 15 日
改定日 2023 年 10 月 18 日

目　　次

1. 組織の概要……1

2. 環境経営方針……6

3. 環境経営目標……7

4. 環境経営計画……8

5. 活動実績……9

6. 環境経営計画の評価と取組結果……10

7. 環境関連法規等の遵守状況および違反・訴訟等の有無……11

8. 代表者による全体の評価と見直し･指示記録……11

1 組織の概要

[1]会社概要

●事業所名及び代表者名
株式会社アール・イー
代表取締役　河本基洪

●所在地
本　　社：岡山県倉敷市水島北春日町 13-6
積替え保管場所：岡山県倉敷市水島北春日町 189 番 7

●環境管理責任者氏名及び連絡先
環境管理責任者　角　真智子
TEL０８６－４４４－６３１４

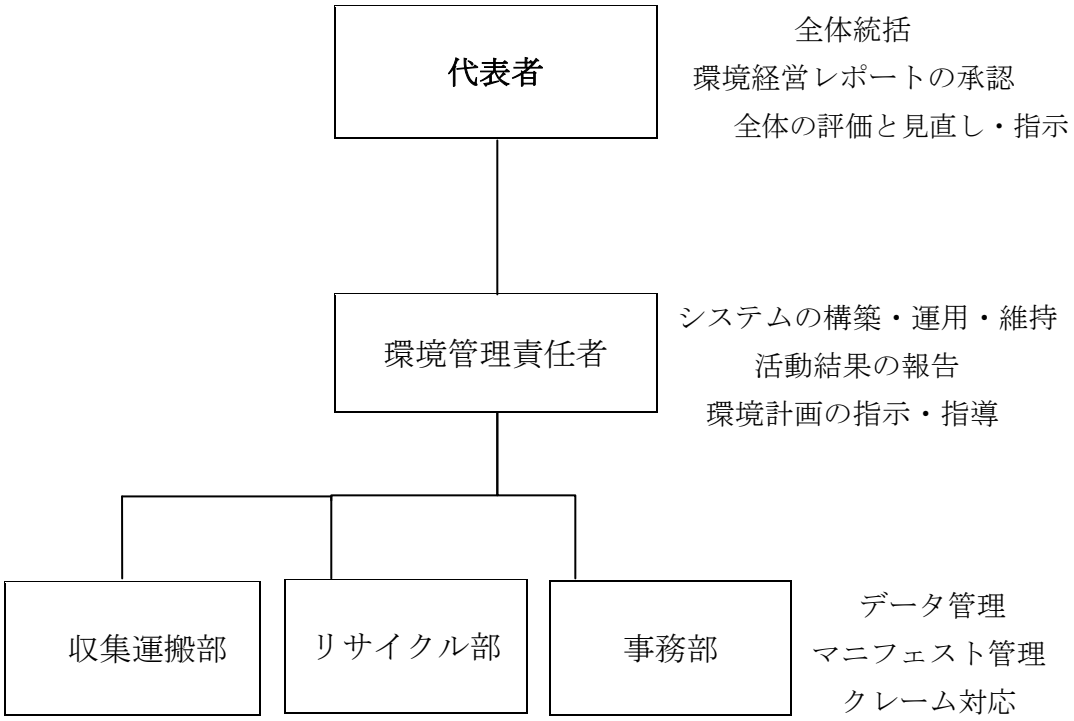
●事業内容
一般廃棄物収集運搬　産業廃棄物収集運搬　古物商

●事業規模
法人設立年月日　平成 22 年 2 月
資本金　　300 万円
売上高　　区分Ａ5 億円未満
事業年度　7 月 1 日～6 月 30 日
従業員数　5 名

事業場の延床面積：620 ㎡
積み替え保管場所：210 ㎡

廃棄物収集運搬量　　781,544 ｋｇ　(2022 年度)

［2］ 組織図


代表者
全体統括
環境経営レポートの承認
全体の評価と見直し・指示
環境管理責任者
システムの構築・運用・維持
活動結果の報告
環境計画の指示・指導
収集運搬部
リサイクル部
事務部
データ管理
マニフェスト管理
クレーム対応

環境活動の推進と実行

	役割・責任・権限
代表者（社長） 河本基洪	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・経営の課題とチャンスの整理・明確化 ・環境管理責任者を任命 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境目標・環境活動計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境活動レポートの承認
環境管理責任者 角　真智子	・環境経営システムの構築、実施、管理、 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・緊急事態対応手順のテスト、訓練の指導及び総括 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境目標、環境活動計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規制等取りまとめ表の作成 ・環境関連法規制等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・従業員に対する教育訓練の実施 ・特定された項目の手順書作成 ・特定された緊急事態への対応のための手順書作成 ・緊急事態対応手順のテスト、訓練を実施、記録の作成 ・環境活動レポートの作成、公開（事務所への備付けと地域事務局への送付）
金光　剛 金光悟	・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の運用管理 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

[3]許可・登録の内容

事業許可内容	管　轄	許可番号	許可取得年月日 （更新年月日）	許可有効期限
一般廃棄物 収集運搬業	倉敷市	第４６号	令和 ４ 年 ３ 月 １ 日	令和６年２月 29 日
産業廃棄物 収集運搬業	岡山県	第１５２２９９号	令和元年１２月７日	令和６年１２月６日
産業廃棄物 収集運搬業	倉敷市	第１５２２９９号	令和 ２ 年１１月２５日	令和７年１１月２４日
古　物　商	公安委員会	第１８０４８号	平成１７年４月２１日	―

[4]産業廃棄物収集運搬業の事業の範囲

	廃棄物の種類															
	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	ゴムくず	金属くず	ガラス・コンクリ・陶磁器	鉱さい	がれき類	ばいじん
岡山県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
倉敷市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

積替え保管場所

○倉敷市水島北春日町 13-6

○倉敷市水島北春日町 189 番 7

[5]認証・登録の対象範囲

対象組織：本社　積替え保管場所

対象活動：一般廃棄物収集運搬　産業廃棄物収集運搬　古物商

【6】収集運搬　許可車両　・　施設等の状況

車　種	台　数	車　種	台　数
2ｔパッカー	2台	2ｔダンプ	1台
3ｔパッカー	1台	4ｔダンプ	2台
軽トラック	1台		

施　設	概　　要
積換え保管施設	産業廃棄物（面積 210 ㎡・容器保管 88.8 ㎡）

【7】廃棄物運搬工程図

排出事業者	燃え殻　汚泥　廃油　廃酸　廃アルカリ　廃プラスチック類　紙くず　木くず　繊維くず　動植物性残さ ゴムくず　金属くず　ガラス・コンクリート・陶磁器くず　鉱さい　がれき類　ばいじん

↓

収集運搬業者 ㈱アール・イー	収集運搬 or 積替え保管

↓

民間 中間処理業者	破砕　選別　堆肥化 油水分離　混合調整 圧縮	→	再生 or リサイクル
		→	最終処分

２．株式会社アール・イー環境経営方針

《基本理念》

株式会社アール・イーは、廃棄物の収集運搬業を通し、より良い「循環型社会」への実現のために、経営における課題とチャンスを定期的に明確化し環境負荷の低減を図り、全社員一丸となって自主的、積極的に環境、地域社会への貢献に取り組み環境経営の継続的改善を推進します。

《環境経営方針》

１．環境関連法規制や当社が約束したことを厳守します。

２．二酸化炭素排出量の削減に努力し省エネルギーを推進します。（電力、ガソリン、軽油）

３．事務所の廃棄物の削減に努めます。

４．水道使用量の総排出量を削減推進します。

５．事務所周辺や地域の環境美化に努めます。

６．環境に配慮した収集運搬を行います。

この環境経営方針・環境への取り組みは全社員へ周知徹底致します。

制定日　2016 年 6 月 1 日
改定日　2022 年 7 月 1 日
株式会社 アール・イー
代表取締役　河本　基洪

３． 環境経営目標-

項目		単位	基準	今年度	中長期	
			2015 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
1.二酸化炭素排出削減		kg-CO2	52,003	48,883	48,363	47,843
			対基準	▲6%	▲7%	▲8%
①電力	使用削減	kwh	11358	10,677	10,563	10449
			対基準	▲6%	▲7%	▲8%
	CO2 排出削減	kg-CO2	6,644	6,245	6,179	6,112
②ガソリン	使用削減 2.32	L	1,767	1,661	1,643	1,626
			対基準	▲6%	▲7%	▲8%
	CO2 排出削減	kg-CO2	4,099	3,853	3,812	3,771
③軽油	使用削減 2.58	L	15,992	15,032	14,873	14,713
			対基準	▲6%	▲7%	▲8%
	CO2 排出削減	kg-CO2	41,259	38,783	38,371	37,958
2.事務所の廃棄物の削減		ｋｇ	実積不明	実態調査	11kg	11kg
			対基準	（12kg）	▲1kg	▲1kg
3.水使用削減		事務所は自宅の１室を利用しており、水道施設がないため、目標設定はしない。 地下水は使用不明であるが、削減には努める。				
5.環境に配慮した収集運搬 （誤集配の件数）		件	0 件	0 件	0 件	0 件

※電気使用量の二酸化炭素排出係数 2019 年度中国電力株式会社調整後排出係数 0.585kg-CO2/kWh を使用した。

４． 環境活動計画

項　目	具体的活動内容
１.二酸化炭素排出量の削減	下記の活動による。
①　電力使用量の削減	・事務所、の照明は昼休みには消灯する。 ・終業時、主電源を切る。 ・服装による体温調節。 ・空調機のフィルターは定期的に清掃をする。 ・照明器具のＬＥＤ化。
②　ガソリン使用量の削減	・無用なアイドリングをしない。 ・車両の空吹かし、急発進をしない。 ・重機の無用なアイドリングをしない
③　軽油使用料の削減	上記②の活動による。
２.事務所廃棄物の削減	・コピー用紙の裏紙利用を促進。 ・両面印刷の促進。 ・古封筒の再利用促進。
３.水使用量の削減（地下水）	・洗車を最小限に留める。
４.環境に配慮した収集運搬	・収集運搬の自動車燃料の消費を削減します。 ・収集運搬での誤配の低減。

５．活動実績

2022 年度 ＝ 2022 年 7 月 1 日～2023 年 6 月 30 日

評価　○100%以上達成　△90%以上達成　×90%未満

項目		単位	2015 年度	2022 年度			評価
			基準	目標	実績	達成率	
1、二酸化炭素排出削減		kg-CO2	52,003	48,863	41,577	116%	○
			対基準	▲6%	113%		
① 電力 0.585	使用削減	kwh	11,358	10,677	6,959	152%	○
			対基準	▲6%	130%		
	CO2 排削減	kg-CO2	6,644	6,245	5,119		
② ガソリン 2.32	使用削減	L	1,767	1,661	3,294	50%	×
			対基準	▲6%	61%		
	CO2 排出削減	kg-CO2	4,099	3,853	6,772		
③ 軽油 2.58	使用削減	L	15,992	15,032	11,575	128%	○
			対基準	▲6%	121%		
	CO2 排出削減	kg-CO2	41,259	38,783	34,229		
２、事務所の廃棄物の削減		ｋｇ	実積不明	実態調査	12ｋｇ	―	○
３、 水使用削減		㎥	地下水の節水につとめた				○
５、 環境に配慮した収集運搬(誤集配の件数)		件	０件	０件	０件	―	○

注）2020 年の度電気使用量の実績は積算計で把握した。それまでは自宅との合計で把握していた。今後 2020 年度の実績を基準値として活動を行う。

６．環境経営計画の取り組みの評価と次年度への反映事項

評価　◎良くできた　○できた　△不十分　×できなかった

活動計画内容	取組結果	担当	評価
1,二酸化炭素排出量の削減	・下記１～２の活動の徹底	河　本	○
①　電力使用量の削減	・照明設備未使用の消灯	角	◎
	・事務所内設備の節電	角	◎
	・空調の適温化の徹底	河　本	◎
	・空調機の定期的清掃	河　本	◎
	・機械設備の節電	金　光	◎
	・掲示物の活用	角	◎
	・ライトのＬＥＤ化	角	×
②　ガソリン使用量の削減	・アイドリング・急加速・急停車の禁止	金　光	◎
	・車両の定期的点検整備	河　本	○
	・車内エアコンの温度を低くする	河　本	○
③　　軽油使用量の削減	・上記②の取組みの徹底	金　光	○
2,事務所の廃棄物の削減	・コピー用紙の再利用・雑紙リサイクル	角	◎
	・資源ごみの完全リサイクル化		◎
3,水使用の削減 (地下水)	・洗車を最小限にとどめる	金　光	◎
4,環境に配慮した、収集運搬	・誤集配の低減に務める。	金　光	◎
	・収集運搬時の清掃の徹底	金　光	◎
	・収集ルートの見直し	河　本	◎
5,事務所・地域の環境美化	事務所周辺の清掃	角	◎
	地区清掃の参加		◎

次年度への反映事項

・次年度も今年度同様の経営計画を実施する。

７． 環境関連法規等の遵守状況および違反・訴訟等の有無

法律等の名称	該当する要求事項 （対応すべき事項）	遵守 評価
廃棄物処理法	・一廃収集業者の許可の確認	○
	・産廃収集運搬の許可の確認	○
	・マニフェスト交付及び保管管理	○
	・廃棄物の適切な保管	○
	・産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出	○
	・自社による運搬時の表示、書類携行	○
悪臭防止法	・規定地域内で悪臭物質の排出基準の厳守	○
消防法	・消火器の定期点検	○
下水道法	・排水の水質基準への適合	○
家電リサイクル法	・エアコン廃棄時の適正処分	―

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、過去 5 年間、法令違反、訴訟等もありません。

8. 代表者による全体の評価と見直し･指示記録

見直し、指示事項	エコアクション 21 の取り組みを始めて 7 年が過ぎました。 少しずつではありますが社員及び会社全体の環境は改善されていると思います。 引き続き目標達成に向けて努力していきたいと思います。 次年度は「環境経営方針、環境経営目標、環境経営計画、および実施体制」についての変更はありません。

2023 年 9 月 10 日

代表取締役　河本　基洪